

1 体位の発育状況

(1) 身長

平均値

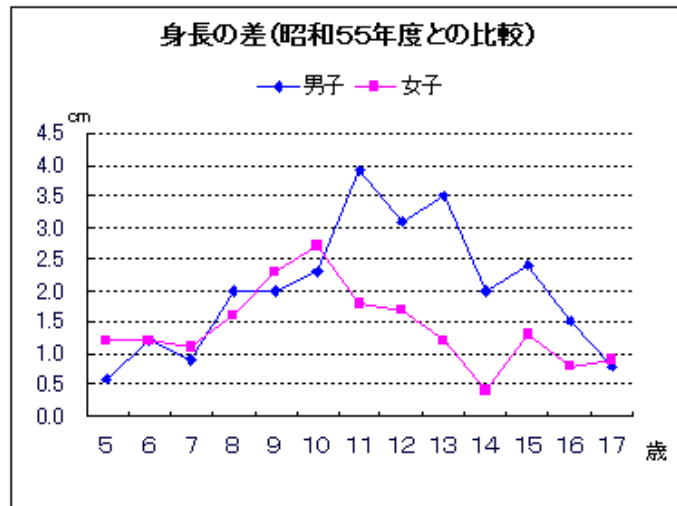
男子の身長は、5歳で110.6 cm、11歳で146.2 cm、14歳で165.3 cm、17歳で170.5 cmとなっている。各年齢間の身長差は、12歳と13歳の間が7.2 cmと最も大きく、また16歳と17歳の間が0.6 cmと最も小さい。

女子の身長は、5歳で110.3 cm、11歳で146.9 cm、14歳で156.2 cm、17歳で157.6 cmとなっている。各年齢間の身長差は、9歳と10歳の間が6.7 cmと最も大きく、また、16歳と17歳の間が0.1 cmと最も小さい。また、9歳、10歳及び11歳で女子の身長は、男子の身長を上回っている。

20年前（昭和55年度）との比較

男子について、最も伸びが大きいのは11歳の3.9 cmで、最も伸びが小さいのは、5歳の0.6 cmとなっている。

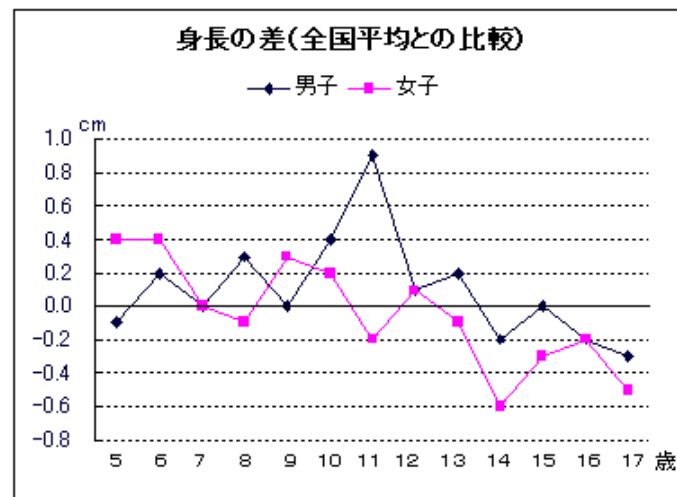
女子について、最も伸びが大きいのは10歳の2.7 cmで、最も伸びが小さいのは、14歳の0.4 cmとなっている。



全国平均との比較

男子については、6歳、8歳及び10歳から13歳で全国平均を上回っているが、その他の年齢では下回っているか又は同一である。

女子については、5歳、6歳、9歳から10歳及び12歳で全国平均を上回っているが、その他の年齢では下回っているか又は同一である。



(2) 体重

平均値

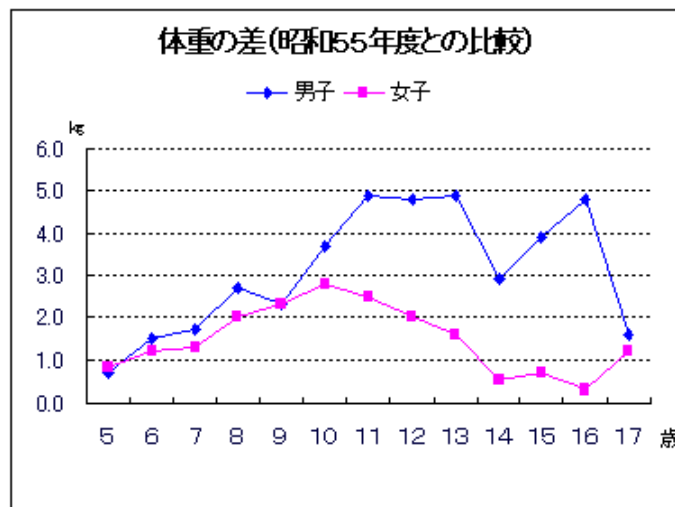
男子の体重は、5歳で19.6kg、11歳で41.2kg、14歳で56.2kg、17歳で62.9kgとなっている。各年齢間の体重差は、9歳と10歳の間が5.6kgと最も大きく、また、16歳と17歳の間が1.0kgと最も小さい。

女子の体重は、5歳で19.4kg、11歳で40.8kg、14歳で51.0kg、17歳で53.3kgとなっている。各年齢間の体重差は、10歳と11歳及び11歳と12歳の間が5.1kgと最も大きく、また、16歳と17歳の間が0.3kgと最も小さい。

20年前（昭和55年度）との比較

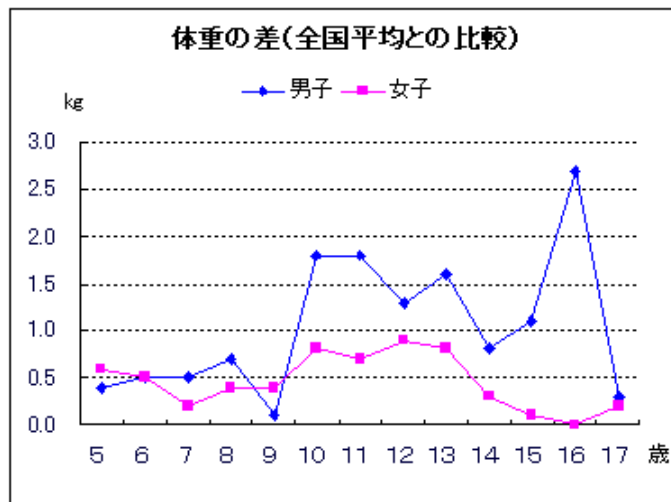
男子について、最も伸びが大きいのは、11歳及び13歳の4.9kgで、最も伸びが小さいのは、5歳の0.7kgとなっている。

女子について、最も伸びが大きいのは、10歳の2.8kgで、最も伸びが小さいのは、16歳の0.3kgとなっている。



全国平均との比較

男子については、全ての年齢で全国平均を上回っている。女子については、16歳で全国平均と同じだが、その他の年齢では、上回っている。



(3) 座高

平均値

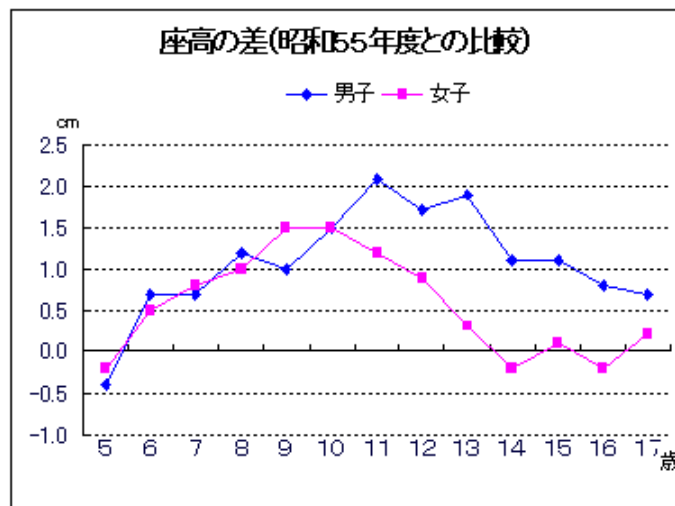
男子の座高は、5歳で62.1 cm、11歳で78.4 cm、14歳で87.9 cm、17歳で91.4 cmとなっている。各年齢間の座高差は、12歳と13歳の間が3.5 cmと最も大きく、また、15歳と16歳の間が0.5 cmと最も小さい。

女子の座高は、5歳で61.9 cm、11歳で79.7 cm、14歳で84.4 cm、17歳で85.2 cmとなっている。各年齢間の座高差は10歳と11歳の間が3.3 cmと最も大きく、また15歳と16歳と17歳の各間が0.1 cmと最も小さい。また、9歳から12歳の間で女子の座高は、男子の座高を上回っている。

20年前(昭和55年度)との比較

男子について、最も伸びが大きいのは、11歳の2.1 cmで、最も伸びが小さいのは、5歳の $\Delta 0.4$ cmとなっている。

女子について、最も伸びが大きいのは、9歳及び10歳の1.5 cmで、最も伸びが小さいのは、5歳、14歳及び16歳の $\Delta 0.2$ cmとなっている。



全国平均との比較

男子については、7歳から13歳、15歳及び17歳で全国平均を上回っているが、その他の年齢では下回っているか又は同一である。

女子については、5歳、6歳及び8歳から12歳で全国平均を上回っているが、その他の年齢では下回っているか又は同一である。

